

高岡市立博労小学校 学校だより



ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>

2024の夏はアツかった！

校長 森田 芳栄

今年も『地球沸騰化』という言葉が身に染みる暑い夏でした。夜もなかなか眠れませんでした。眠れなかった理由は暑さではなく、他にもない、パリオリンピックでしたが…。夜中に「やったあ！」と手を叩いて大喜びしたり、「あ～！」と天を仰いで悔しい思いをしたりする日が何日もありました。どの競技も目が離せず、毎日引き込まれるように観戦していました。

1%に賭けた挑戦、遠かった1点、…。「1%の可能性でもあるなら」と自分を信じてトライした堀米優斗選手の逆転金メダルは劇的でした。また、仲間を鼓舞し続けて最後まであきらめずにチーム一丸で戦った体操男子団体の金メダルは、チーム力というのは、個の力の足し算ではなく、仲間の信頼がかけ算になって現れる値であるということも感じることができました。バレーボールやバスケットボールでは、直前ですると勝利が手から逃げて行ってしまい、勝負の厳しさや難しさも感じました。さらに、柔道女子個人戦で2回戦敗退となった阿部詩選手は、敗退のショック、数々の中傷から立ち直れない中でも力を振り絞って団体戦に出場しましたが、その姿から、苦しくても前を向くことの美しさを感じました。そして、白血病を乗り越えてオリンピックの舞台に戻ってきた池江璃花子選手をみただけで涙があふれそうになりました。決勝進出できなかったレース直後のインタビューの言葉が「なんのために今日までがんばってきたのだろう」でした。きっと私たちの想像を遥かに超えたつらい練習を積み重ねてきたのだろう、そう思うと胸がつまりました。まだまだありすぎて、紙面では書ききれない、言葉で表現してしまうのがもったいないくらいの感動をこの19日間からもらいました。

順位が付いてしまうのがオリンピックですが、どれだけがんばったかで比べるとしたらすべての選手が金メダルだと、私は思いました。

第2学期の始業式では、『あきらめない勇氣』と『仲間を思いやる心』という2つのことについて話しました。詳しくは、お子さんからお聞きください。

博労小学校区総合防災訓練 8/25（日）

市の総合防災訓練が、博労小学校体育館で行われました。各戸での避難訓練、自治会ごとに一時避難場所への避難誘導、安否確認、情報収集したのち、避難所である博労小学校へ避難するという訓練に、校下全体で取り組みました。2学期は、5年生が総合的な学習の時間で『防災』を取り上げて追究学習を進めていく予定です。

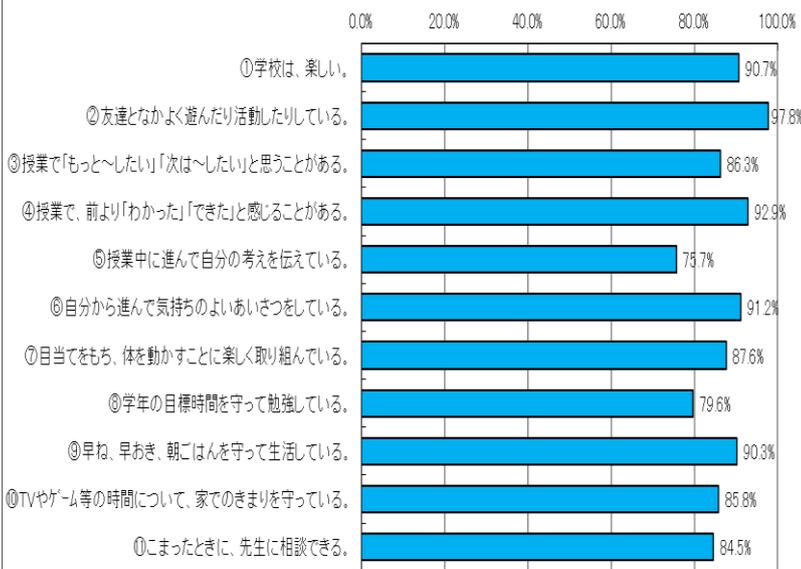


～1学期の学校評価の結果について～

教頭 岩崎 泰明

学校運営や教育活動等を改善し、より充実した学校にしていくために、1学期末に児童アンケート、保護者アンケートを実施しました。これらの評価結果についてお知らせいたします。

児童アンケート「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和6年7月)



★児童アンケートから★

全体的に8割以上の高評価の項目が多くみられました。特に「①学校は楽しい」「②友達となかよく」「④分かった・できた」等の結果から、児童は有意義な学校生活を送っていることがうかがえます。

昨年アクションプランとして掲げていた⑤は昨年度より6ポイントほど下回って75.7%となっていますが、昨年度一定の成果がみられたことから今年度「進んで自分の考えを『表現する』」から相手意識を大切に「伝える」に文言を変更して取り組んでいます。主体性が発揮できる教育環境を大切に、相手意識をもって互いの考えを表現し合えるような授業づくりに引き続き取り組んでまいります。

また、各項目においてたとえ少数であっても「そう思わない」と回答した児童には、一人一人の見取りと支援に心がけていきます。

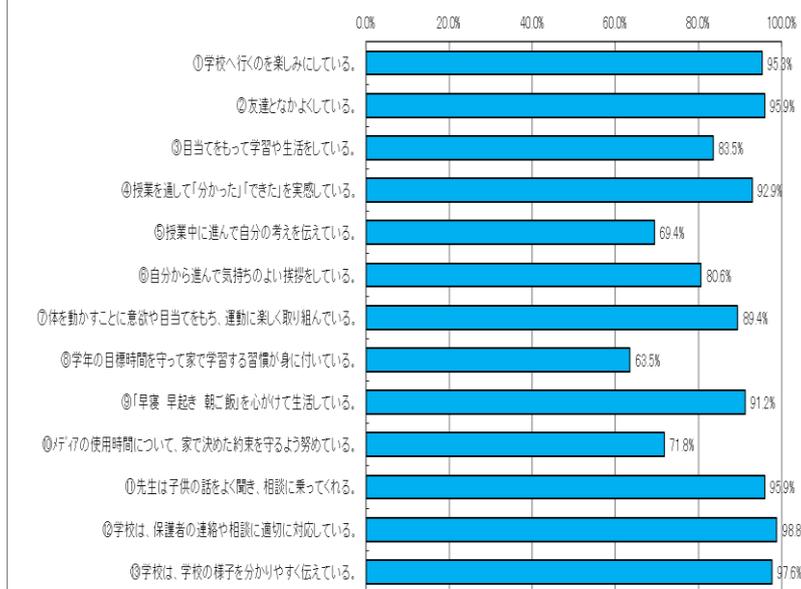
★保護者アンケートから★

児童と同様に、「①学校は楽しい」「②友達となかよく」「④分かった・できた」で高評価をいただきました。また、学校の児童・保護者への対応等に関する⑪～⑬の項目で、いずれも95%を超える評価をいただきました。今後も、引き続き、安心・安全な学校生活を目指して、保護者の皆様の信頼に応えられるように、教職員一丸となって努めてまいります。

⑤⑧⑩の項目については昨年度に引き続き80%を下回っています。⑤については児童の欄で述べたとおり主体性が発揮できる教育環境を大切に、相手意識をもって互いの考えを表現し合えるような授業づくりに引き続き取り組んでまいります。です。⑧「家庭での学習時間」については、児童アンケートでもやや数値に落ち込みが見られた項目であり、⑩「メディアの時間」と併せ、家庭学習の時間の確保やメディアの使用ルール等について、保護者の皆様と協力しながら、より望ましい方向に進めていきたいと思っております。

これからも、児童一人一人の実態を把握し、支援に努めるとともに、博労っ子の頑張りと成長の様子を各種たより、ホームページ等を通して、随時発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

保護者アンケート「そう思う」「どちらかといえば思う」と答えた割合(令和6年7月)



次回は、2学期末にアンケート調査を実施します。

ご協力をよろしくお願いいたします。